

木村さん。

平田 三三

ご子息がいます。昭和一五年以来、約六〇年向も木村さんとお会いしてありますが、昨日偶然に、目封の新聞紙上の木村さんの写真と出会いました。なつかしく思いました。貴録は充分ですが、昔のおも影がよく見られます。お元気で活躍されておられるへんねーと思えます。お久しぶりという感じがするね。……とここで、初めて知りましたが、原爆のとき、木村さんも被爆された西親さま、お兄さんご夫妻、めいごさんも残念なところでした。亡くなりましたが、方々のご冥福を祈ります。昭和6/30まで部隊 広島二部隊（十連隊）におり、命令で、駿河湾、相模湾の防衛のため、こちらに移動して、アメリカ軍の上陸に備えておりました。中学二年のとき、原さん、南部さんへ多分、しらの織町の木村さん宅においでしましたことも覚えており、お母さまとお会いしたように思えます。……残念なところです。

“一中小高の仲間、よくお会ひになつてゐると思ひますが、  
 アウトサイダーの私、なか／＼23年度のひとと会えませんでした。  
 しかし、歳をとるに従つて、いろんな人と再会することになり、いままでには  
 (原田) 中村、衣本、原(故人)、藤井(故人)、平山、竹本、正岡、河部、南部らに  
 会ひ、頼島、大下、平見、加藤らとはまだ会つてゐません。(伊藤(故人)  
 宮地先生(健在)とは、たゞ／＼お会ひしつゝ、小松先生(故人)  
 とともに東京でよく会ひました。氣遣ひがよい、いづれか人生のよう  
 ですか。人柄はみんな昔と変わりませんね。……  
 戦後、衣島文理大、京都帝大(文・書)フラス史(19)もへて、  
 衣島大(文)助手、講師、ついで文部省調査官、衣島大(文)助教授、  
 教授(部署)で停年退官……さういふ、衣島工大教授、学長補佐、  
 衣島女大商短大学長をへて、今日に至つてゐます。  
 また、いつか、森さんとお会ひしませう。鶴田、松が同じ恩師の  
 尊之がおられ、隣りの縁かな?と思ひました。  
 眞さんによろしくお伝へ下さる。

11/23

平田